

# 高齢者の状態を日々把握する 介護に関わる専門家たち！

利用者である高齢者と最も多く接し、リアルタイムで心身の状態や変化を把握し、理解しているのが介護職員。



## 介護職員の主な仕事

### 身体介護

食事 入浴 排泄

あらゆる介護現場で、専門的な知識と技術を必要とする身体に触れる支援。

### 生活援助

買い物 掃除 ベッドメイキング

利用者の暮らしの中で、本人や家族が行えない掃除、買い物等、身体に触れない支援。



### 申し送り

出勤したらパソコンで利用者の情報を収集。その後、担当者間で引き継ぎを行う。



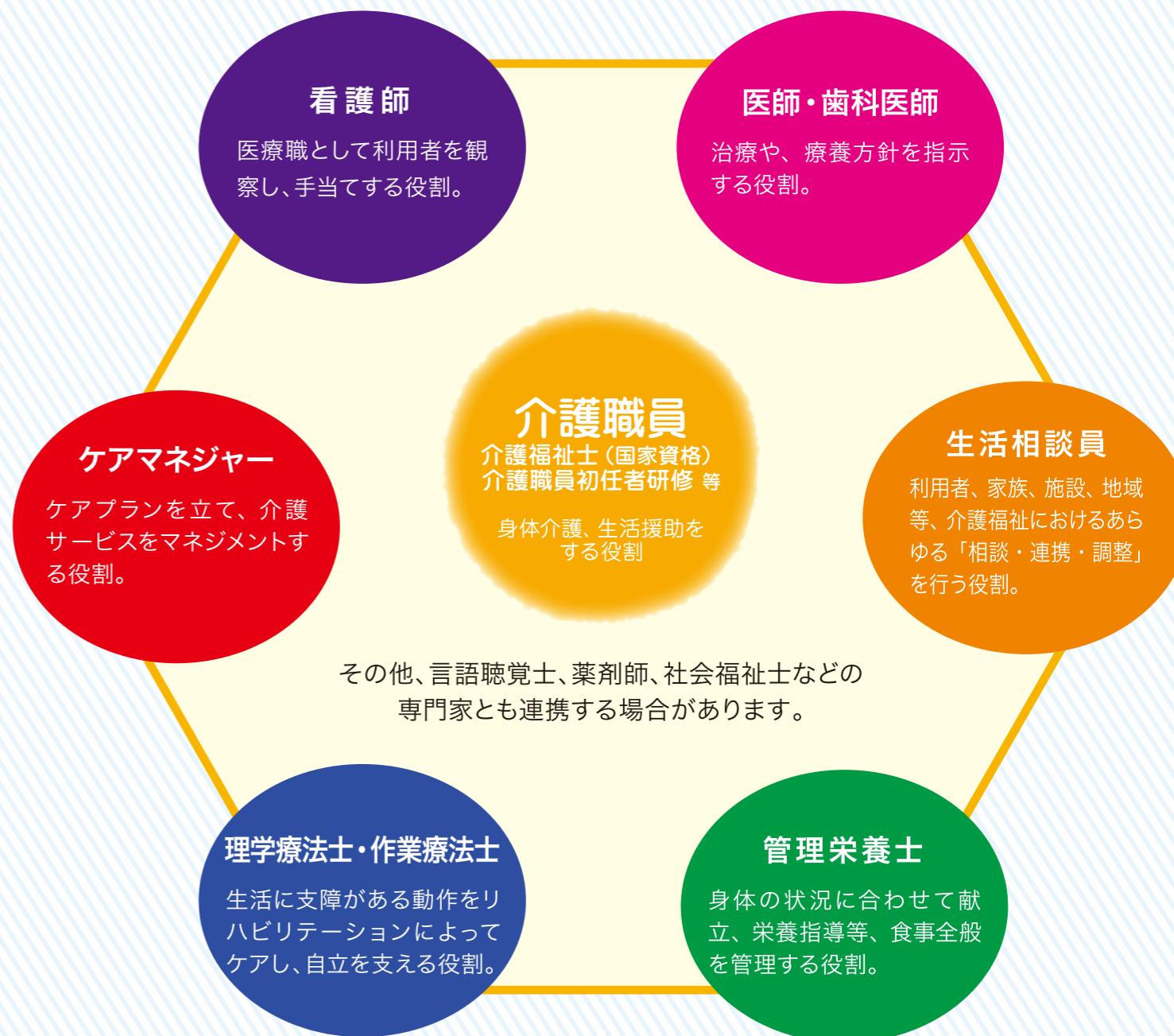
### 日々の生活支援

生活の中で生じた様々な課題は、各分野の専門家と連携して早急に解決！



## 介護における多職種連携

介護、医療等の専門職が互いの役割を理解し、連携することで、“その人らしさ”を実現します。そのため、高齢者の日々の状態を把握する情報交換等は欠かすことができません。



\*1 看取りカンファレンス：利用者の最期の時間をどのように過ごしてもらうかについて、各専門職の役割や関わり方を明らかにする多職種連携会議のこと。

\*2 ケアプラン：利用者の解決すべき生活課題、利用者本人や家族の意向、援助の方針、提供する介護サービスの種類、目標や達成時期等が記載された介護サービス計画書のこと。